

あつぎ未来ミーティング 開催報告書

タイトル	あつぎ未来ミーティング
開催日時	令和2年12月13日（日） 13:30～17:00
開催場所	厚木市役所 本庁舎4階大会議室
参加者数	28人
担当課	市街地整備課
結果公開日	令和3年3月10日
会議の経過	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 複合施設整備についての概要説明 3 映画鑑賞「森聞き」 4 グループディスカッション 5 グループ別発表 6 講評 7 閉会
会議の内容	図書館機能、（仮称）未来館機能、連携機能等の交流施設について、ドキュメンタリー映画「森聞き」を鑑賞した後、9班に分かれ、映画の感想や未来に受け継ぎたい思いなどについて意見を交わしました。
発表の概要	
班	主な意見
1	<ul style="list-style-type: none"> ● 厚木には、郷土資料がいろいろとあるので本や文献、参考資料などを図書館に置いて、子どもたちに継いでいってほしい。 ● これからも人口が増えるようになってほしい。 ● 市民が共有できるものや場所がつかれるとよい。 ● グループディスカッションの時間は、もっと欲しかった。
2	<ul style="list-style-type: none"> ● 厚木の良さというものを伝えていく方法を考えていきたい。 ● 新しい施設は、市のランドマークであり、未来に対してのメッセージになるとよい。 ● エコロジー、エコノミー、温暖化といった課題についても考えていきたい。 ● 自然災害への対応もしないといけない。

3	<ul style="list-style-type: none"> ● 普段通りの生活が一番大切であり、そのような生活が続けていけるような市にしてもらいたい。 ● 新たな図書館には、イベントや講演会などを多く実施して、人を呼び込めるような施設にして欲しい。 ● 図書館は、楽しいところであって欲しい。おしゃべりや飲食ができるような場所があってもよいのではないか。 ● それぞれの年代ごとの利用を考えた図書館、良い厚木市の施設をつくってほしい。
4	<ul style="list-style-type: none"> ● 伝えていくことの大切さを改めて感じた。厚木でも地域で子どもたちを育てて行くようになったらよい。 ● 厚木に、新しい若い世代がどんどん入るために、どのような魅力があるのかを考えていきたい。
5	<ul style="list-style-type: none"> ● 人とコミュニケーションをとることにより、人の考え方が変化していくことが分かった。 ● 身内以外のお話を聞くことは、大切だと思った。 ● 厚木にも若い力があると良いなと思った。
6	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分たちが学生の頃には、将来どのような仕事に就こうか考えるための機会や経験がなかった。子どもたちにはいろいろな人から話を聞く機会ができるとよい。 ● 大切なことは、ハードよりも完成してからの運営・コンテンツだと思う。今回は気付きを与えてくれるワークショップだった。庁舎、図書館、未来館が単体ではなく、相乗効果が生まれる場所になるように面白いコンテンツがある施設を期待している。
7	<ul style="list-style-type: none"> ● 誰かに伝えたいと思う人は、自然を相手に何十年も仕事をしている方で、芯も持ちしっかりとした考え方をしている。伝えたいことがある人生はすばらしいと思った。 ● 厚木の名人や厚木の良いところは何か考えていきたい。
8	<ul style="list-style-type: none"> ● 人は、未来に不安を感じながらも、いろいろな人と出会い、考え、何かを受け取って生きていくことができるということを感じた。 ● 厚木の芸能や文化に、もっとお金を使って欲しい。厚木にはすばらしいものがいっぱいある。小さい時から積み重ね、芸能の歴史も知らない次の世代に伝えられない。 ● 若い人は、ちゃんと考えて、受け取っていると思うと、心強い、頑張らなくてはと思った。 ● 厚木でもいろいろな活動をされている方がたくさんいらっしゃるの、そういう方を呼んで映画のようにやってみると良いのではないか。 ● 他地域から厚木に移住してくる人たちが、長く住み続けるには、何をしないといけないのか、もっと具体的に示して欲しい。

- 最初は、映画を観る意味が分からなかったが、映画を観ていくうちに、若い人に何を残してあげられるかということを考えるきっかけになった。
- 図書館は、生きる言葉を見つける場所やヒントを得ることができる場所に是非なって欲しい。
- 図書館をどう残したいか、何を残して行きたいかは、コミュニケーションしやすく、リラックスできる空間である。また、お茶を飲めたり、楽しい環境になって欲しい。
- 本は、画一的なジャンルで並べるのではなく、つながりのある楽しいジャンルで並べても良いのではないか。
- 面白いものが見つかる場所になって欲しい。
- 過去からのつながりや積み重ねてきたことをどう残していったら良いかということを考えるきっかけになった。